

# 東京五輪を読む

評論

魅力を封じられた日本

1964年の東京五輪は、日本が世界の主要国の一員だということを示すことが全然だった。今回の五輪を通して日本は、衰えつたる「過去の強國」ではなく、人類の未来を決定づける最新技術などを持つ国の一つだということ

たということだ。

無観客となり、国内外に日本の魅力を特徴付ける「おもてなし」をする機会は完全に失われた。非常に残念だ。国外の人々は、「2020年東京五輪」の開催やメダリストのことは将来も覚えていただろ

ける日本の敗北を意味した。国外の人々は健康問題や開催費用より、時間と情熱を投資して準備をし、次はないかも

しない自国の選手のことを心配している。

日本がギブアップするのも見たくない。全ての難題を前に、安全な五輪を成功裏に開催してもらいたい。中止の判断をしていたら多くの人々を

## ギブアップ見たくない

ワシントンDC日米協会会長  
ライアン・シェイファー



RYAN SHAFFER  
1978年10月2日、米首都ワシントン生まれ。米マンスフィールド財團勤務などを経て2019年2月から現職。

を示そうとしていた。悲劇は、その全てが新型コロナウィルスにより葬り去られてしまつ

うが、選手が隔離をしなければならなかつたことや20年ではなく21年の開催だったことすら忘れてしまうと思う。ただ国内では状況は全く異なる。五輪開催が新型コロナの感染者増につながることは否定できない。経済的にも非常にマイナスだろう。しかし日本に中止という現実的な選択肢があつたとは思えない。

落胆させていただろう。五輪は常に開催国的好印象を残す。日本も間違いなく同様だ。しかし今回は「そのコストは?」という問題がある。開催費用や政治的、公衆衛生上のコストだ。恐らく、かなりの高額だ。五輪開催は日本にとって好ましい結果を得ることが不可能な状況だが、日本が夏季五輪でなしえなかつたことは不運だ。中国政府は6ヶ月後の北京冬季五輪を、日本が夏季五輪でなしえなかつた方法で開催する機会を得たことに胸を膨らませているだろう。現実的には、東京五輪と同じ程度に新型コロナに苦しむことになるとは思う。

東京五輪の直後に北京冬季五輪が開催されることで、東京での興奮や熱気、好ましい思い出がすぐに忘れ去られるなどの直接の影響が出るかどうかは、正直分からないが、多くの投資をした日本の指導者たちが気にしているのは間違いない。

## 五輪に新風

東京五輪で初採用のスケートボードやサーフィン、自転車BMXが新風を吹き込んでいる。自由闊達(かつたつ)な雰囲気や笑顔で健闘をたたえ合うシーンは、従来型の五輪競技の概念を覆した。価値観の多様化で若者の五輪離れが進む中、国際オリンピック委員会(IOC)はスマートフォンと育った「デジタルネーティブ世代」を強く意識し、推し進めるデジタル戦略で早くも効果が出ている。

「(選手は)良き友人でありライバル。このスポーツにおける絆を示せたと思う。新種目は五輪をよみがえらせることができる」。自転車BMXフリースタイル・パーク男子で初代王者に輝いたコーガン・マーティン(オーストラリア)は、変化の兆しを感じ取った。

若年層引きつけるIOCのもぐろみに乗つた新競技も、想像以上の相乗効果を享受する。サーフィン男子で銀メダルを獲得した五十嵐カノア(木下グループ)は会員制交流サイト(SNS)のフォロワー数が急増し「五輪の力はさすがに強いなと思った。毎日のように増えている」と驚きを隠せなかった。

ストリーミングへ

IOCによると、スケートボードとサーフィンはソーシャルメディアとの関わりが顕著に印象的だつた。IOCは「若者、都市型アバラン、男女平等」の三つ手が大技を決めれば自分のことのように喜び、失敗すれば一緒に悔しがる選手の自然な姿が印象的だつた。

IOCは「若者、都市型アバラン、男女平等」の三つ



スケートボード女子パークで金メダルを獲得し、大勢の報道陣の前でポーズをとる四十住さくら(中央右)と銀メダルの開心那=4日、東京都江東区の有明アーバンスポーツパーク

## IOCの改革早くも効果

著とのデータが示された。3年後の次回パリ五輪ではブレイクダンスの初実施が決まり、市中心部のコンコルド広場に都市型スポーツを集めた会場を特設する。IOCはツイッターや動画投稿アプリ「TikTok(ティックトック)」も駆使して、若者の会場を取り込みを図る。

サーフィンが人気のブラジルではテレビの視聴率が上昇。世界的にも視聴率には新

型コロナウイルス禍による無

観客開催の影響はないとい

うとしている。新型コロナも

影響して加速的に進んでい

る」とIOCのルンメ・テレ

ビ・マーティング部長。五

輪を巡る戦略は、急速な変化

への対応を求められている。

日本や東京の政治指導者は大きな中止圧力にさらされた

が、個人的には少々不公平だと感じる。五輪中止は簡単にできることではない。つまり

指導者たちは五輪に巨大な政

治的、財政的な資産を投資し

たと言える。

だから、その投資が洗い流

されてしまうことを深く懸念

している。東京と北京が近接

した時期に五輪を開催するこ

とは不運だ。中国政府は6カ

月後の北京冬季五輪を、日本

が夏季五輪でなしえなかつた

方法で開催する機会を得たこ

とに胸を膨らませているだろ

う。現実的には、東京五輪と

同じ程度に新型コロナに苦し

むことになるとは思う。

五輪が開催されることで、東

京での興奮や熱気、好ましい

思い出がすぐに忘れ去られる

などの直接の影響が出るかど

うかは、正直分からないが、

多くの投資をした日本の指導

者たちが気にしているのは間

違いない。